

2020/10/26 (月)

朝の礼拝

聖書 ルカによる福音書 22章19節 (新約聖書154頁)

それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」

共にいる

人間は弱い生き物だったので、生き延びられたと言われています。一人ひとり弱くても互いに協力して、幾度も厳しい環境を乗り越えてきたからです。それは人間の遺伝子に今も残っているそうです。

しかし人間は文明を築き、自然を破壊し、人間同士まで争うようになりました。そうして人間は弱い存在であることを忘れ、強い者だけが生き残れるのだと信じるようになってしまいました。

イエスは生涯、この世で弱くされている人々に寄り添いました。そして彼らと共にいることで、強い力を持つ人々から忌み嫌われ、憎しみを受けて十字架にかけられました。

イエスが死んだ後、弟子たちは最後の晩餐の席でパンとぶどう酒を分けたイエスを思い起こしました。そして、今もイエスが共におられると信じ、病にある人、貧しい人に寄り添ったのです。イエスは私たち人間の本来の姿を回復して下さったのです。

(しばらく黙祷しましょう)

祈祷 祈りましょう

わたしたちを愛し、励まされる主よ。あなたは十字架から降ろされ埋葬されましたが、その墓にはおられません。あなたは今も私たちと共におられ慰め、励まして下さいます。どうか安全で健康な学校生活を守り、祝福に満ちた文化祭、英和祭を迎えることができますようにお導き下さい。今日一日もすべてをあなたに委ね、互いに励まし歩ませて下さい。主イエス・キリストによってお願い致します。アーメン